

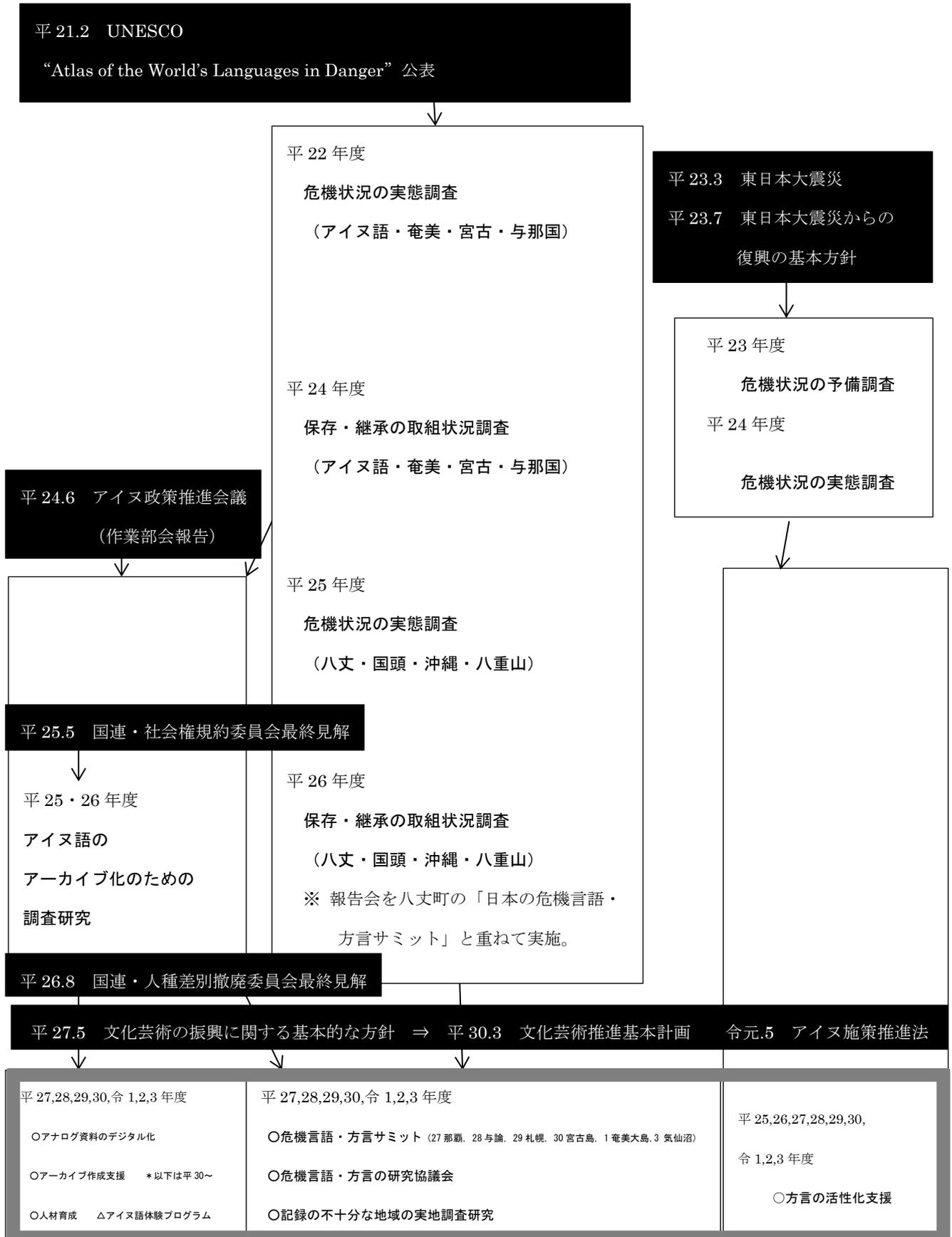
“Atlas of the World’s Languages in Danger” (UNESCO2009)

で消滅の危機にあるとされた日本国内の言語・方言 及び

東日本大震災の被災地の方言



# 危機的な状況にある言語・方言に関する文化庁の取組の流れ



## 危機的な状況にある言語・方言に関する文化庁の取組の枠組み

危機言語の研究者が提唱する、危機言語の保存・継承に有効な枠組みは、

<Status (地位) >      <Corpus (核) >      <Prestige (威信) >

という3分野にわたる取組であるということを踏まえて取り組んでいる。

### <Status(地位＝公的な位置付け)>

- ・アイヌ施策振興法
- ・学習指導要領解説
- ・文化芸術推進基本計画

### <Corpus(核＝言語的基礎データや教材等)>

- ・アイヌ語アーカイブ作成支援
- ・危機言語・方言の調査研究
- ・被災地方言支援

### <Prestige(威信＝社会的なイメージ)>

- ・危機言語・方言サミット
- ・危機言語・方言に関する研究協議会